

地区自治会におじゃまします！

このコーナーでは、宮代町内の地区・自治会の取り組みや地域の特色などをお届けいたします。

◆ 金原地区自治会

自治会情報 [金原地区自治会]

【構成】
74世帯




祭りの後片付けをする地域のみなさん。社社の裏手にあるのが集会所です。



集会所内には写真や賞状などが飾られ、さながら地区の資料館のようです。

緑が多く、思わず深呼吸したくなるような金原地区には、広大な芝生を有するはらっパーク宮代もあります。取材に伺った日は、地区の集会所と隣接する稲荷神社の例祭の日で、五穀豊穡と地域の安寧を祈願する祭礼が行われていました。自治会活動とともに、歴史あるコミュニティについてのお話も伺うことができました。

るようにしています。こうした取り組みによって入会した若い人が積極的に活動に加わってくれているとのこと、「若い人でも、地域とのつながりを求めている人は結構います。ゆるやかにつながっていることがいいのでしょう。」と役員さんはおっしゃっていました。

【敬老会で地域交流を図る】

金原地区自治会ではこれまで、地域敬老会は開催していませんでしたが、会への参加を通じて地域の交流を図れるようにしたいと、新たに企画し準備を進めています。9月16日に開催される敬老会は、郷土資料館の協力を得て、金原地区の記録映像の上映会をするそうです。年配の方を敬い、昔を懐かしみながら「あんなこともあったね」などの話から交流ができればいい、との思いから、社会参加型活動の一環として、地域の若い世代や子どもたちも参加できるようになっているそうです。「こうした取り組みを通じて、集会所が地域のみなさん

にとって情報交換をする場になったらいい。」とは前出の役員さんの言葉です。金原集会所は、サークル活動などでの利用はあまりないとのことですが、八起会（はつきかい）という地域の方々がゆるやかなコミュニケーションをとる会の会場にもなっており、こうした地区での交流を通じて、近隣の方々とつながりも広がり、ひいては孤立を防ぐこともできるようでした。

【コミュニティが温かく受け入れる】

役員さんへのインタビューのあと、金原集会所の中を案内していただきました。室内にはたくさんの写真や賞状が掲示され、地区の方々のつながりの強さを感じました。また、祭りの手伝いに来ていた転入1年目という若い方にお話を伺うと、とても暮らしやすく居心地がいいとおっしゃっていました。今回の取材を通じて、金原地区では、積み重ねられたコミュニティの中に新たに加入する世帯がゆるやかにつながっていることが感じられました。

今月の 気になったコト

このコーナーでは、宮代町内をいろいろ回っていた際に気になったモノ・コト・ヒトなどを取りあげていきます。

◆ 上海料理 龍盛房 さんの ドラゴンラーメン



「食べてみたいけど一人じゃ無理…」という方は、他の注文と合わせて数人でシェアするといいかも。

大学通り沿いにある中華料理店「龍盛房」さんで食事をしていると、必ずと言っていい確率で「うわあ〜」とか「スゲェ！」といった感嘆の声が聞こえてきます。その理由が、コチラの「ドラゴンラーメン」。麺の上に積まれたキャベツともやしで高さは25cm以上、チャーシューの厚さは3cmほどと、唸り声も納得のボリュームです。いわゆる「二郎系ラーメン」にあたるものですが、その味もラーメンマニアの折り紙

付き。ネット界限でも「ラーメン専門店じゃないのに、レベルが高い!」とか「町中華のラーメンとは思えない!」などなど、高評価の嵐です。量少なめの「ミニドラゴン」もあるので、気になる方は食べてみては?

【上海料理 龍盛房】

住所：宮代町本田1-3-21
TEL：0480-31-9797
営業時間：11:00~14:00
17:00~22:00
定休日：木曜日



みやしろ公園 再発見！

宮代町内にはところどころに小さな公園があります。お散歩や子育てに。あなたの知らない公園を再発見！

◆ にじ広場

公園情報 [にじ広場]

住所：東姫宮2丁目8番
遊具：なし
休憩：ベンチあり・東屋あり
水道あり・トイレなし
備考：公衆電話があります。
ローソンまで約400m。

姫宮駅西口徒歩7分。閑静な住宅地にある広場。遊具はありませんが、そこそこ広さがあるので、小さいお子様から大人まで利用方法は多種多様。キレイな東屋があるので仲間とお話したり、ベンチでポ〜ッとしたり。すぐ近くに“たご”のいる“たご公園”、“いか”のいる“いか公園”、恐竜のいる“姫宮東公園”があるので、お子さんと公園めぐりするのも面白そうです。



姫宮南団地エリア内には、特徴のある公園が4つもあります。その1つが、にじ広場です。



ゆったりとしたベンチエリア



子どもが走り回るのに最適な広場



水道は水飲み場つき



とてもキレイな東屋

なきじんせん 今帰仁村だより

このコーナーでは進修館と交流のある沖縄県今帰仁村との交流の様子やさまざまな情報をお届けします。

◆ 古宇利島の駅 ソラハシ

今帰仁村の古宇利島は、直径約2Km、周囲が約8Kmの小さな島。古宇利ビーチやティーヌ浜（ハートロック）などの名所が多数あり、年間およそ100万人が訪れる観光地です。島内には、沖縄産の新鮮なフルーツや沖縄北部のものを取り扱った物産店やフードコートがある、ゆったりとできる観光施設「古宇利島の駅ソラハシ」があります。

「ソラハシ」という名称は、沖縄有数の絶景ポイント古宇利大橋を渡るときに、まるで空を渡るように感じる様と、人と人、事業と事業の架け橋になりたいという意味が込められており、「島民・村民・県民と観光客がふれあう場所づくり」をテーマに

「ソラハシは古宇利島を通じて日本と世界の架け橋になる」ことを目指しています。フリーマーケットやイベントを毎月開催することを通じて、観光客だけでなく地元の人々が関わるきっかけづくりをしているソラハシでは、8月12日には盆踊り大会を開催するため、準備を進めています。素晴らしい校歌を歌だけでなく形にして受け継いでいきたいということで、校歌に振り付けをしたことが始まりといわれる「校歌ダンス」や、沖縄の民謡の「古宇利ジントヨー」など、地域に根差した踊りをセレクトし、練習会などを通じてもつなぐりを行っているそうです。

沖縄県 今帰仁村

NAKIJIN VILLAGE

今帰仁村HPより引用



施設内にある「古宇利島ふれあいひろば」では、地元の人々による様々なイベントが開催されています。



古宇利ビーチに隣接する「古宇利島の駅 ソラハシ」は、島の観光拠点として多くの観光客でにぎわっています。



「古宇利島の駅 ソラハシ」のウェブサイトには、沖縄屈指の絶景ポイント「古宇利大橋」が掲載されています。